

# 文化的・社会的貢献活動(その1)

## ■ しんくみいきいき献血運動

9月3日の「しんくみの日」にあわせた社会貢献活動として、献血運動を毎年実施しています。24回目となる令和7年度は9月4日(木)、シンヨービル13階大会議室を会場に実施しました。近隣にお勤めの方にも声掛けしたほか、本店ビル1階の受付カウンターやエレベーターホールにも催し案内を掲示しました。

当日は近隣の営業店からも職員が積極的に参加し、68名の方(来場者92名)に献血していただきました。日本赤十字社によると広島県内では年間11万人の方が献血に協力しており、その人数は献血可能な全人数の4%にあたるそうです。さらにこの数値を上げ、献血の件数が減少する暑い時期での協力が期待されています。この24年間の実績は延べ参加者1,515名、献血者1,118名となりました。これからも社会、地域が求める活動に積極的に参加していきます。



## ■ しんくみの日週間の寄付金贈呈

令和7年8月、信用組が定める「しんくみの日」にあわせて、三矢会太田川学園(広島市安佐南区)、<sup>さんしかい</sup>似島学園(広島市南区)、広島修道院(広島市東区)の各社会福祉法人に寄付金を贈呈しました。三矢会太田川学園はアート活動を活発に行っています。「ハナサクモリ」というギャラリーに多くの作品を展示し、その作品の一部を「Café de アート」と銘打ち、安佐南区内の学校や公民館、カフェに飾っています。似島学園は広島湾に浮かぶ似島にて、山麓に広がる300アールの広い敷地で子どもたちがのびのびと生活を送っています。広島修道院は、様々な事情により家庭で養育を受けることができない2歳から18歳までの子どもたちがここから通園、通学し、家庭的な雰囲気の中で生活しています。これらの寄付が、福祉の一助になることを願い、これからも地域社会に貢献していきます。

### ■ 社会福祉法人似島学園



### ■ 社会福祉法人三矢会



### ■ 社会福祉法人広島修道院



## ■ RCCラジオ・チャリティ・ミュージックソン募金

目の不自由な方に音の出る信号機を贈るため、ラジオとイベントを通じて募金を呼びかける中国放送の支援キャンペーンに1回目から毎年参加し、広島地区での「RCCラジオ・チャリティ・ミュージックソン」募金活動に協力しています。

令和6年度は約672万円もの募金が中国放送に集まり、波出石交差点(広島市佐伯区)、南小学校前交差点(福山市明治町)、下見中央交差点(東広島市西条)の信号機設置に役立てられました。これで県内49か所に音の出る信号機が設置されたこととなります。

18回目となる令和7年度も11月から令和8年1月までの募集期間に合わせて、全店デジタルサイネージに告知ポスターを掲出し、募金箱を本店営業部のカウンターに設置しました。また募金の振込手数料を無料とし、役職員も募金に協力しました。中国放送には約657万円の募金が集まり、新たな信号機を設置する予定です。これからも地域社会のために協力していきます。



波出石交差点

## ■ 小学校の生活科学習「町たんけん」に五月が丘支店協力

令和7年11月11日(火)、広島市立五月が丘小学校(佐伯区)の生活科学習「町たんけん」に五月が丘支店が協力しました。この学習は、見学やインタビューなどの活動を通し、自分たちの町の良さに気づき、地域の人や場所への愛着を深めることを目的とする校外学習です。

当日は2年生の子どもたち7名と引率の教職員2名が訪れ、地域金融機関の仕事を見学しました。

主に一日の流れ、店内の紹介、ATMや金庫の中について説明しました。金庫の中やATMの機械部分を普段見ることはないの、全員が興味深く観察していました。

紙幣を数える実体験では、担当職員が札勘する様子が見えるように見えたのか熱心に見入っていました。模擬紙幣を使って、子どもたちが枚数を数えるタイムを競うゲームも行いました。

参加した子どもたちの様子に、対応した職員は地域に貢献することの大切さを再認識しました。



## ■ グラウンド・ゴルフ大会に東雲支店、向洋支店協力

令和7年10月18日(土)、東雲支店が協賛する「第12回ふれあいグラウンド・ゴルフ交歓大会」が東雲本町公園(広島市南区)で開催され、支店職員3名が参加しました。この交歓大会は比治山、仁保学区近隣の愛好者が集い、交流と親睦をはかることを目的に毎年行われています。

予報では雨が心配でしたが、プレーが白熱してくる頃には青空が広がり、絶好のゴルフ日和となりました。職員も普段とは異なる環境の中で、和やかに地元の皆さんと楽しくプレーができました。

また、令和8年5月13日(水)には、向洋支店が主催する「第29回グラウンド・ゴルフ大会」を広島市東部浄化センター運動広場(広島市南区)で開催しました。支店から職員4名が設営したのち、地元の皆さんと楽しくプレーしました。

総勢84名の参加者は各自スタートするホールに散らばり、合図とともにプレーをスタート。広いグラウンドに広がった16ホールには選手の大きな声援と笑い声が響きました。

地域の皆さんとのふれあいを通じて、つながることの大切さを再認識しました。



東雲支店

向洋支店

## ■ 国際交流サッカー大会に吉田支店出場

令和7年10月19日(日)、安芸高田市サッカー公園で「第2回安芸高田市国際交流サッカー大会」が開催され、吉田支店が出場しました。この大会は、サッカーを通して安芸高田市にご縁のある人たちで交流していこうと昨年からはじめました。

2回目の今回は、ベトナム、インドネシア、タイ、そして日本の4か国の出身者が参加し、10チームで対戦しました。吉田支店チームは支店職員と僚店職員の7名が中心となって混合メンバーを編成し、熱い戦いを繰り広げました。試合の合間には各国のご当地フードのブースや地元のキッズダンスチームのパフォーマンスがあり、国際交流を体感する一日となりました。これからも地域の要望に誠実に応えていきます。



# 文化的・社会的貢献活動(その3)

あげあげ

## ■ 安芸安芸まつりに府中支店協力

令和7年11月23日(日・祝)、府中支店がフォレオ広島東(広島市東区温品)で開催された「第13回安芸安芸まつり」に参加しました。このイベントは元々旧安芸町である馬木地区、福田地区、温品地区を盛り上げるお祭りとして始まりました。当日は良い天気恵まれ、多くの来場者がステージパフォーマンスやグルメブース、フリマブース、ゲームコーナーなどで楽しみました。

参加した支店職員3名は、一番人気の大抽選会を手伝いました。会場で顔なじみのお客さまから声を掛けていただいたり、以前勤務していた店舗のお客さまと再会できたりとつながりを深める良い機会ともなり、地域の皆さんと楽しい一日を過ごしました。

これからも地域を盛り上げる活動に積極的に協力していきます。



## ■ 南の風EBAあそびに江波支店協力

例年2月の第2日曜日に江波山公園を会場に開かれる「南の風EBAあそび」が令和8年2月8日(日)に催され、江波支店職員4名が参加しました。34回を数える今回は第51回衆議院選挙の投票日と重なったことと、事前に警報級の大雪となる可能性が予報されたことで、集客が心配されましたが、地域に定着したイベントということもあって、会場の江波山は、多くの地域の皆さんが集まりました。

職員はステージ脇の本部テントで受付と進行のお手伝いを担当。昨年こぎでんまの江波漕伝馬に参加した職員は江波の盆踊りの輪にも加わりました。

会場は恒例のジャンボ江波巻き作りから始まり、ステージでは各種団体のパフォーマンスで大盛況。会場の至る所に多くの模擬店や昔あそび、工作コーナーがあり、小さなお子さんからシニアの方まで幅広い世代が楽しんで催しでした。

これからも地域の一員として、地域が元気になるよう、積極的に取り組んでいきます。



## ■ 広島神輿行列に駅前支店協力

令和7年11月9日(日)、広島東照宮(広島市東区)が主催する「広島神輿行列」に駅前支店が参加しました。この行事は徳川家康の50回忌より50年ごとに開催されていた「通り御祭礼」を、後世に引き継ぐことを目的に前年(平成27年10月)から10年目に開催することになりました。江戸時代から守り受け継がれた大神輿に、花車や伝統芸能も組み入れ、時代装束をまとった約300人の行列の一員に支店職員2名が加わり、広島東照宮から饒津神社までの往路「渡御」、復路「還御」を歩きました。

小雨が降り肌寒い天気ではありませんでしたが、沿道には多くの観客が訪れ、行列の一带はまるでその当時にタイムスリップしたかのような空気で包まれていました。

参加した職員は初めて着る当時の衣装が厚く重たかったのでとても緊張しましたが、多くの方と交流し、地域のつながりを実感できましたと感想を述べています。



※写真提供:広島東照宮



## ■ 大朝春市「わさまち」に大朝支店協力

令和8年4月29日(水・祝)、北広島町大朝ショッピングセンター“わさ〜”と周辺のわさまち通り一帯で恒例の春祭り「わさまち」が開催され、大朝支店が協力しました。この祭りは、前々日に地元酒造メーカーによる蔵開き、次の日に前夜祭を行い、本祭へとつながっていきます。当日の天気は曇りでやや肌寒い天候になりましたが、地元のこどもたちによる「こども神輿」や北広島町消防団大朝による「一斉放水」が行われました。ステージでは新庄学園ダンス部や、各種タレントによるパフォーマンスなどが演じられ、訪れた人たちの寒さを吹き飛ばし、会場を大いに盛り上げました。支店職員はゴミステーションを担当し、全員で会場美化に努めました。イベント終盤には会場に大朝音頭が流れ、地元女性会を中心とした踊りの輪に職員も加わり、地域の一体感を実感しました。これからも地域に根ざした行事に参加し、地域の活性化に協力していきます。



# 文化的・社会的貢献活動(その4)

## ■ 酒まつりに西条中央支店協力

令和7年10月11日(土)と12日(日)、酒どころ東広島市の一大イベントである第36回酒まつりが「結(musubu)」をテーマに開催され、西条中央支店職員2名が協力しました。このまつりはJR西条駅前一帯で行われ、全国の日本酒の飲み比べやご当地のグルメ、蔵めぐり、ステージイベントに国内外から訪れた約22万人が楽しみました。酒ひろばでは45都道府県の酒造会社813蔵の銘酒が並び、酒蔵通りには酒造会社が提供するまつり限定酒などが振舞われるなど、日本酒ファンはもちろん、仲間や意気投合した来場者同士で杯を交わしました。東広島市金融協会の要請により、職員は少し離れた広島大学キャンパスとメイン会場を結ぶピストンバスの運行をサポートするため、大学の駐車場で整理係を務めました。これからも地域イベントに積極的に協力していきます。



写真提供:公益社団法人東広島観光協会



## ■ プレミアム付商品券の換金業務で地域を応援

大崎上島町では政府の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した「プレミアム付商品券」を令和8年6月から発行し、消費の喚起による町内経済の活性化をはかっています。この商品券の換金業務を町内にある金融機関が引き受け、当組合では木江支店が対応しています。商品券の流通が町の活気につながることを期待しています。

名 称	大崎上島町プレミアム付商品券
事業主体	大崎上島町商工会
券種・枚数、額面合計	1冊 1,000円券×10枚=10,000円分
販売価格	1冊 5,000円、郵便局で販売(1人2冊まで)
購入できる方	大崎上島町の居住者(役場より引換券発送)
利用できる場所	大崎上島町の加盟店(ステッカーで表示)
利用期間	令和8年6月1日(月)~令和8年9月30日(水)
金融機関の換金期間	令和8年6月1日(月)~令和8年10月9日(金)



## ■ さえき桜まつり 桜マルシェに五日市支店協力

令和8年4月11日(土)と12日(日)、第27回さえき桜まつり 桜<sup>マルシェ</sup>が開催され、五日市支店職員4名が運営に協力しました。このイベントは、お花見の名所で有名な造幣局広島支局が行う桜の一般公開「花のまわりみち」の時期に合わせて、隣接の佐伯区民文化センターエントランス(広島市佐伯区)で開催されました。パン・スイーツといったグルメや、スーパーボールすくいなどの屋台ゲーム、ワークショップが各所で行われ、両日とも多くの来場者でにぎわいました。参加した職員はテントマルシェ内の射的ゲームコーナーを担当。子どもたちの呼び込みや射的の実演を通じて地域の皆さんと交流しました。これからも地域の皆さまとともに、地域活性化のため積極的に参画していきます。

